

Have you ever noticed the different **approaches** / [^ people use <to deal with problems>]?

↑ 関係代名詞 (which)      ↑ 不定詞の副詞用法

**Individualists** may often be **the quickest** <to find an answer to a problem>, / and they tend to be **willing** to take **responsibility**.

S                      V                      C                      ↑ 不定詞の副詞用法  
= individualists

☑ 内容Check!

問 次の各文が正しければ ( ) に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. Individualists may often find an answer to a problem faster than cooperators. ( )
2. Individualists tend to be willing to change their opinions. ( )
3. The cooperators' approach to dealing with problems can take a long time. ( )

❖ 覚えておきたい表現

■ 形容詞+to do 「…するのが～だ」(不定詞の副詞用法)

ℓ.6 : Individualists may often be **the quickest to find** an answer to a problem, and they tend to be willing to take responsibility. 「個人主義者は、問題の解決策を見つけるのが最も速いことがよくあり、また、責任を負うのをいとわない傾向がある。」

・形容詞+to do は形容詞の内容を後ろの不定詞が説明する形(不定詞の副詞用法)。the quickest to find an answer は quick to find an answer の最上級で、「最も早い(何をするのが?) ⇒ 答を出すのが」ということ。

Ex. This room is **easy to heat**. 「この部屋は暖めるのが簡単だ。」

・be willing to do 「進んで〔喜んで〕…する；…するのをいとわない」

Ex. I'm **willing to** tell you everything I know. 「私の知っていることすべてを喜んでお話しします。」

■ too ~ to do 「～過ぎて…できない」

ℓ.8 : They may be **too** committed to a particular position **to be** able to change their opinions. 「彼らは、ある特定の立場にあまりに傾倒し過ぎて、自分の意見を変えることができないかもしれない。」

・be committed to ~ 「～に傾倒する」。

Ex. They **were** deeply **committed to** the cause of world peace. 「彼らは世界平和の大義に深く傾倒していた。」

■ 形容詞+enough to do 「…できるほど十分～」

ℓ.12 : They tend to be flexible **enough to recognize** the importance of other points of view when problems arise. 「彼らは、十分融通がきく傾向にあるので、問題が発生すると他の視点の重要性を認識する。」

・flexible enough to recognize ~ 「～が認識できるほど十分柔軟だ」：形容詞+enough to do で「…できるほど十分～」という意味を表す。

Ex. He is old **enough to understand** the situation. 「彼は状況が理解できるほど十分な年齢だ。」

整理しよう! \*段落要旨・構造\*

① 人が問題に対処する時の方法の違い

◆ ℓ.2 **Some ~ Other ...** 「あるものは～他のものは…：対比」

- ・個人で問題に対処する人(個人主義者)
- ↳ チームで問題解決を図る人(協調主義者)
- ・それぞれ長所と欠点を持っている。

② 個人主義者の紹介

・長所：対応が素早い。自分で責任を取る。

◆ ℓ.7 **However** 「しかし：逆接」

・欠点：ある立場に固執しすぎて意見を変えられない。

③ 協調主義者の紹介

・長所：チームとして事にあたり、他人の意見を認める柔軟性がある。

◆ ℓ.13 **however** 「しかし：逆接」

・欠点：対処に時間がかかり、解決の遅れにつながる場合がある。

④ 結論

2つの対処方法の違いを認識して問題に対処すれば、人間関係をスムーズにすることができる。

背景知識

● 集団での作業効率について

集団作業の効率などを見るのは社会心理学の専門だが、ここでは、その類型と問題点について見てみよう。個人だけでは実行不可能な作業を可能にすることが集団形成のメリットであると言われるが、多数の人が集まることで逆に解決に遅れが生じるというマイナスの作用もある。プラスの面とマイナスの面に応じて、集団作業を類型化すると、①加算的タスク、②補正的タスク、③非接合的タスク、④接合的タスクの4つに分類できる。①は田植え作業のように作業従事者が増えるほどより仕事が早く終わるという特徴を持つ。②は各人が別々の地区でとってきた街頭アンケートを持ち寄り平均化して調査結果をまとめるといった、メンバー個々の作業結果を平均化してまとめるという特徴を持つ。③は企画会議などのように参加人数が増えるほど優れたアイデアが飛び出す可能性が高まるといった特徴を持つ。④は登山などのようにメンバーのうちで最も遅れがち者に皆が歩調を合わせなければならないといった特徴を持つ。この中で、特に④は、集団に属する全員が同じ速度で進まない限り効率が悪くなるので、問題がある。また③についても問題検証が不十分なままその場で権威を持つ人の意見に周囲がなびくことなどもあり得るという点で問題があると言える。③と④の問題点は、社会心理学的に見れば、集団内部での結束の強さがあだとなって集団思考に陥り、理性的な決定が妨げられると言い換えることができる。

【深めたい人に】<sup>ときなが</sup> 晨永光彦『面白いほどよくわかる社会心理学』(日本文芸社、2003年)